

令和5年度第1回宇治市地域福祉推進委員会 事前質問まとめ

資料6

番号	資料	ページ	ご意見・ご質問内容	回答
1	第3期宇治市地域福祉計画	51	委員会において、具体的にどのような資料に基づいてどのような方法により、どのように評価して、進捗管理をするのかわかりません。	第3期地域福祉計画の進捗管理は、【資料4】第3期宇治市地域福祉計画地域福祉推進のプログラム<推進のめやす>と【資料5】地域福祉計画評価表を用いて行う予定です。
2	資料4		進捗管理に関して、第3期宇治市地域福祉計画の各施策の所管課へのヒアリングの実施を提案します。 (趣旨)各施策のねらいと指標として選定した実績が妥当なのかどうかを確認し、地域福祉委員会での客観的な評価を行うため(ヒアリングのイメージ) 3から5名の地域福祉員が各施策の所管課から1時間程度ヒアリングを行う。	各施策の内容や実績につきましては、推進のめやすにて所管課に確認を行っております。実績の妥当性の確認につきましては、推進委員会等でいただいたご意見を参考にしながら各課と調整して参ります。
3		9	記載なし(記入漏れなのか、施策を行っていないのか、今後、予定はないのかなど不明)。何らかの記載をお願いしたい。	「-」が入っているものにつきましては、具体的な取組に対応する施策の実施がないものになります。
4		10	事業名『安全・安心まちづくり事業』総務課 令和4年度の成果・実績に「防犯講演会を開催した」とされているのに、「防犯講演会」の実績数値が0となっているのは、なぜか。	防犯講演会は1回開催しているため、実績数値を「1」に修正します。

番号	資料	ページ	ご意見・ご質問内容	回答
5		10	事業名 『育成学級緊急安全対策事業』 こども福祉課	
			実績数値として「総勤務時間数」を指標とされているのは、違和感がある。	育成学級緊急安全対策事業は、三季休暇等に安全対策として各学級に安全支援員を配置しており、正門での不審者対応や学校施設内の巡回等を行う事業です。安全性の確保を示す数値を示すことが困難であるためそれに代わるものとして安全支援員の勤務時間を実績(数値)として記載しました。 なお、安全対策支援員の配置学級数は全ての育成学級で20学級としているところです。
6	資料4	15	事業名 『第4次宇治市地域福祉活動計画策定に向けての協議』	宇治市社会福祉協議会
			策定にかかる協議会数が「随時」とされているが、指標の意味がない。	実績(数値)につきましては、削除します。
7		16	事業名 『多世代交流事業の実施』 学区福祉委員会	
			「令和4年度の成果・実績」の中で「コロナ前に実施されていた事業が自粛されている」とされているのに、評価が★★★なのは、違和感がある。	評価につきまして、「★★」に修正します。
8		16	事業名 『通所介護での世代間交流事業の実施』 宇治市福祉サービス公社	
			「令和4年度の成果・実績」で「新型コロナウイルス感染症の影響により職場体験を通じた交流の機会は少なかった」(数値も1回)のに評価が★★★なのは、違和感がある。	評価につきまして、「★★」に修正します。

番号	資料	ページ	ご意見・ご質問内容	回答
9	資料 4	17	事業名 『小・中学校「総合的な学習」推進事業』 学校教育課	
			「社会人講師による授業」の数値の記載がない。	本事業の目的は国際理解、環境、福祉、健康など従来の教科の枠を超えた横断的、総合的な学習を実施することによって、児童・生徒の自主的・実践的な態度を育成することであり、それらを定量評価する実績数値はありません。 なお、令和4年度の社会人講師依頼人数(実数)は188人です。
34		事業名 『地域福祉推進事業』 地域福祉課		
		出前講座の実績が1回にとどまるのに評価が★★★なのは、違和感がある。	地域福祉推進事業の事業内容は、出前講座以外にも地域福祉推進委員会の開催や地域福祉計画の進行管理となっています。ご指摘のとおり出前講座の開催は1回となりましたが、事業全体としては計画的に実施されているため、評価は「★★★」としています。	
11	34	事業名 『地域福祉センター等での地域福祉のつどい、コミュニティカフェの開催』 宇治市福祉サービス公社		
		評価指標が「出張にて地域福祉センターPR」とされているが、「地域福祉のつどい、コミュニティカフェの開催回数」とすべきではないか。	R4の実績を「地域福祉のつどい、コミュニティカフェの開催回数(回)」とし、数値を「0」に修正します。「令和4年度(2022年度)成果・実績」を「新型コロナウイルス感染症の影響により「地域福祉のつどい」等は開催できなかったが、地域コミュニティカフェ等に職員を派遣することで地域福祉センターのPRを実施した。」に修正します。	
12	36	事業名 『在宅ねたきり者等訪問指導事業』 健康づくり推進課		
		実績が0であるのに評価が★★★なのは、違和感がある。	対象者への保健指導や生活管理指導を行う体制は整えていたものの、ケースがなく実施に至らなかったため、評価を「★」へ修正します。	

番号	資料	ページ	ご意見・ご質問内容	回答
13	資料 4	38	事業名 『障害者生活支援センター運営事業』 障害福祉課	
			評価指標が「宇治市障害者生活支援センター運営箇所」などとなっているが、例えば「障害者生活支援者数」などとすべきではないか。	実績(数値)を「宇治市障害者生活支援センター運営箇所」から「相談件数」に修正します。なお令和4年度の実績は「7,209件」になります。また委託先につきましても、市内指定特定相談支援事業所へ修正します。
14		42	事業名 『ヤングケアラー対策事業』 こども福祉課	
	指標が設定されていないが、「ヤングケアラーからの相談件数」とか「相談員の人数」などの指標が考えられる。指標がないのに評価が★★★★なのは、違和感がある。		ヤングケアラー対策事業は、京都府内の市町村では初の取組として、令和4年度よりヤングケアラーコーディネーターとして会計年度職員1名を配置し、相談窓口を開設しています。相談以外にも啓発活動や研修の実施、学校等の関係機関との情報共有による潜在的なヤングケアラーの確認、必要な支援へのつなぎ等を行っており、これら業務の進捗を総合的に判断し評価をしました。実績(数値)の掲載につきましては、所管課と調整し検討します。	
15	52	事業名 『福祉サービス利用援助事業(日常生活自立支援事業)を介した成年後見制度への移行支援』 宇治市社会福祉協議会		
		指標の「成年後見制度との調整(回数)」が「随時」となっているが、評価になじまない。	実績(数値)を「成年後見制度への移行(人)」に修正します。なお、令和4年度は3人です。	